

# 借りるなら、まずは国の教育資金

## 所得が低いからこそ、国の教育資金が利用できます

給付型奨学金だけでは足りない、また収入基準で給付型奨学金を受給できない場合には、日本学生支援機構の貸与型奨学金や、国の教育ローンの利用を検討しましょう。ひとり親家庭であれば母子父子寡婦福祉貸付金、ひとり親以外でも低所得世帯向けの社会福祉協議会の貸付金なども理由できます。日本学生支援機構の貸与型奨学金には、無利子の第1種奨学金と、利子のつく第2種奨学金があります。金額が大きくなると利子も大きな負担になるので、よく比べて、できるだけ有利なものを利用しましょう。

## 準備は早めに まずは相談

お金を借りるための手続きは、予想以上に時間がかかります。総合型選抜（旧AO入試）は9月以降、学校推薦型選抜（旧推薦入試）は11月以降から始まり、合格すればすぐに入学金などまとまったお金を納めなければなりません。公的融資が間に合わず、民間の教育ローンやキャッシングなどを利用すると非常に利子が高くなります。国の教育ローンは合格前に申し込むことができるので、早めに申し込み、審査を受けて融資OKの返事をもっておけば、必要なタイミングで借りられます。キャンセルも自由ですので、入学金などの準備が心配な方は、早めに問合せをしましょう。

なお、日本学生支援機構の奨学金は、給付型、貸与型とも大学入学後にしか払われません。私大の多くは合格後1～2週間以内に、入学金と前期分授業料等を納めなければならず、入学金を納めないとせっかく合格しても入学取り消しとなります。お子様の努力を無駄にしないためにも、入学金は早めに準備をしておきましょう。

## 入学金の準備額は余裕を持って

大学受験では国公立大学と私立大学との併願や、滑り止めの私立大学と本命の私立大学など複数校の受験をするのが一般的です。入学金は入学後すぐに払わなければならないために、実際には入学しない大学にも入学金を納めなければならない場合もあります。複数校分の入学金を用意しておくことも大切です。

## 日本学生支援機構の貸与型奨学金の金利は、民間に比べお得

日本学生支援機構の第二種（利子付き）の貸与型奨学金の利子は、現在大変低く、利率固定方式が0.070%、利率見直し方式なら0.002%（令和2年3月）です。国や民間の教育ローンに比べても大変低いので、第一種が借りられない、給付型や第一種だけでは足りない場合は、まずは第二種の利用を検討しましょう。第一種奨学金は、所得連動返還方式という返済方法も選択できるようになりました。この返済方法では、所得に応じた返還月額となるため、所得が少ない場合は、返還月額も少なくなります。一方、所得が多い場合は、返還月額が多くなります。大学を卒業後に就職がうまくいかず収入が少ない場合は、返済金額が少なくなるので、「給料が少ないのに奨学金の返済が負担になる」というようなことが避けられます。

図 18 日本学生支援機構の貸与型奨学金

	第一種（無利子）			第二種
対 象	国内の大学院・大学・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）に在学する学生・生徒			
利 子	無利子			貸与が終了した月の利率で決定する方式 利率固定方式：年 0.156% 利率見直し方式：年 0.004% (2019 年 12 月末貸与終了者) <b>※利率は年 3%を超えないよう法令で定められています</b>
学力基準	高校の成績の平均値が 3.5 以上			高校の成績が平均水準以上 特定の分野において、特に優れた資質能力を有すると認められること
家計基準	世帯人数	給与所得	給与所得以外	【4人世帯の場合の目安】 第一種：747 万円以下 第二種：1100 万円以下 第一種と二種の併用、貸与月額などによって異なる
	3 人	657 万円	286 万円	
	4 人	747 万円	349 万円	
5 人	922 万円	514 万円		
貸与月額 (大学の例)	区 分	自 宅	自宅外	月額 2～12 万円（1 万円刻み）
	国公立	2～4.5 万円	2～5.1 万円	
	私 立	2～5.4 万円	2～6.4 万円	

\* 給付型奨学金と第一種奨学金の併用も可能ですが、家計基準等で貸与できる額に制限があります。

\* 給付型奨学金と第二種奨学金の併用、第一種奨学金と第二種奨学金の併用は可能です。

図 19 日本学生支援機構の貸与奨学金と一般的な教育ローンとの比較

	日本学生支援機構の貸与奨学金	国の教育ローン	民間の教育ローン
申込方法	高校在学中は高校から、大学や専門学校進学後はそれぞれの学校から	日本政策金融公庫に直接申込	それぞれの金融機関（銀行や信用金庫など）に直接申込
借りる人	学生本人	保護者等	保護者等
申込基準	生計維持者の収入が一定額以下	世帯年収（所得）が一定額以下	申込者の年収が一定額 <b>以上</b>
振込方法	在学中、毎月振り込まれる	一括して振り込まれる	一括して振り込まれる
返済時期	貸与終了後 7 ヶ月目から (3 月卒業なら 10 月から)	借りた翌月から。在学期間中は利息のみの返済も可能	借りた翌月から 金融機関により、在学期間中は利息のみの返済も可能などもあり
利子は付く？	第一種 無利子 第二種 有利子 (在学期間中は無利子)	貸与と同時に利子発生	貸与と同時に利子発生
利率の目安	利率固定方式：年 0.156% 利率見直し方式：年 0.004% (2019 年 12 月末貸与終了者) <b>※利率は年 3%を超えないよう法令で定められています</b>	固定金利（保証料別）金利 1.7% 母子父子家庭優遇金利 年 1.3% 利子（保証料）を助成する自治体あり	A 銀行： 担保あり 年 2.975% 担保なし 年 3.475% など 金融機関で異なります <b>※民間の教育ローンは変動金利（保証料込）が主流です。</b>
返済方法	定額返還方式 第一種奨学金所得連動返還方式も選べます	元利均等返済	元利均等返済

### ●奨学金のポイント

- 1 生徒（学生）本人が契約する（申込手続きは親任せにしない）
- 2 最初の給付は入学後の 4～6 月
- 3 返還開始は卒業後 7 ヶ月目から
- 4 3 ヶ月滞納すると個人信用情報機関に登録。返還困難な場合は日本学生支援機構に相談。